

鎌倉淡青会10周年行事の公開セミナーは円覚寺と鎌倉市教育委員会後援の基に5回シリーズの2回を無事に終了しました。

第1回(7月30日)は薬草に詳しい広島大学名誉教授の山崎和男さんの「毒にも薬にもなる薬草の話」で、大まとめをしますと次の通りです。

\*普通に見かける草花にも毒性の強いものがあり、その中から素晴らしい薬が開発されている。

\*どんな薬でも飲みすぎれば毒になる(クスリはリスク)、  
用量反応曲線の意味を十分に理解してほしい。

ユーモア混じりの山崎さんの講義について参加者からは「化学式の紹介など専門的なお話でしたが、とても興味深く新鮮だった」との評価(アンケート)でした。

第2回(8月27日)はトルコ、ミャンマーの大使を務めた山口洋一さんの「公正・不偏な視点で世界史を捉える一思い込みの世界史」で、これも大まとめをしますと次の通りです。

\*日本人は世界情勢や歴史について「思い込み」(あるいは欧米人の色眼鏡)により世界を眺める傾向がある。

\*それぞれの国には、独自の歴史、文化、国民性、国民感情があるので、部外者の一面的な介入は有害である。

\*近年私利私欲が目立つ日本人だが、愛国心(=決して国粹主義に非ず)と誇りをもってほしい。

洋行帰りのエセ紳士を風刺する戯れ歌まで飛び出しての熱演で、会場からも様々な立場の質問があり関心の高さを実感しました。

いずれのセミナーでも当初予定の50名を大幅に上回る100名以上の参加となりました。参加者は50代から70代の男女が中心で、主催者側が当初期待していた夏休み中の学生の参加が皆無だったのが残念です。アンケート結果では「すばらしい企画、講演者の層の厚さがうらやましい。」「次回以降も参加希望」などが寄せられました。

円覚寺が創立されてから730年。樹木に囲まれた静寂なお寺で公開セミナーを開催できることに感謝しつつ、皆様のご協力で残りのセミナーを一層充実していきたいと思っております。

(写真は 2013 年 8 月 27 日 安藤義信さん撮影)



セミナー会場風景



円覚寺山門